

最新情報

1) Journal 紹介

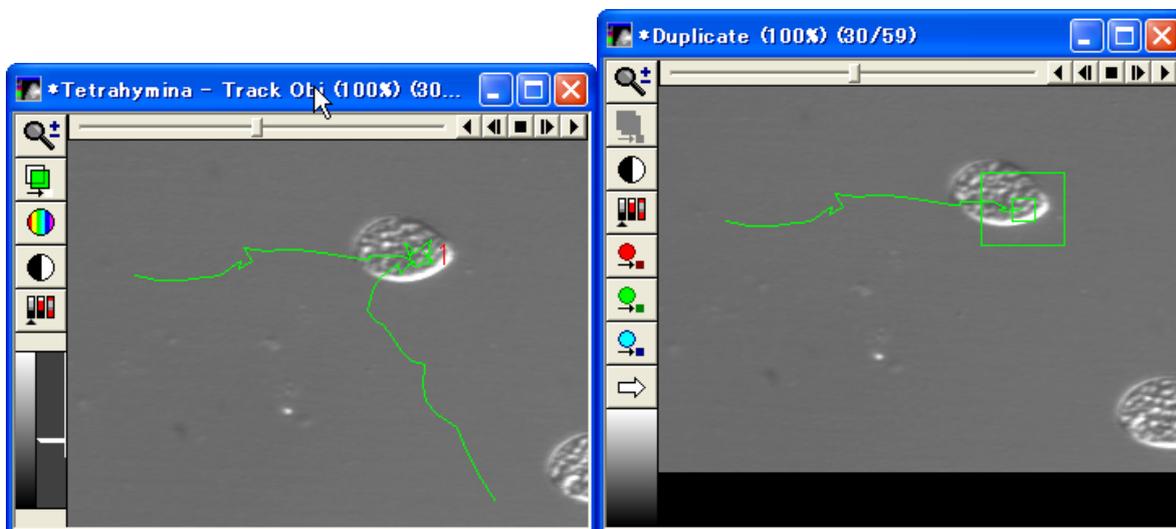
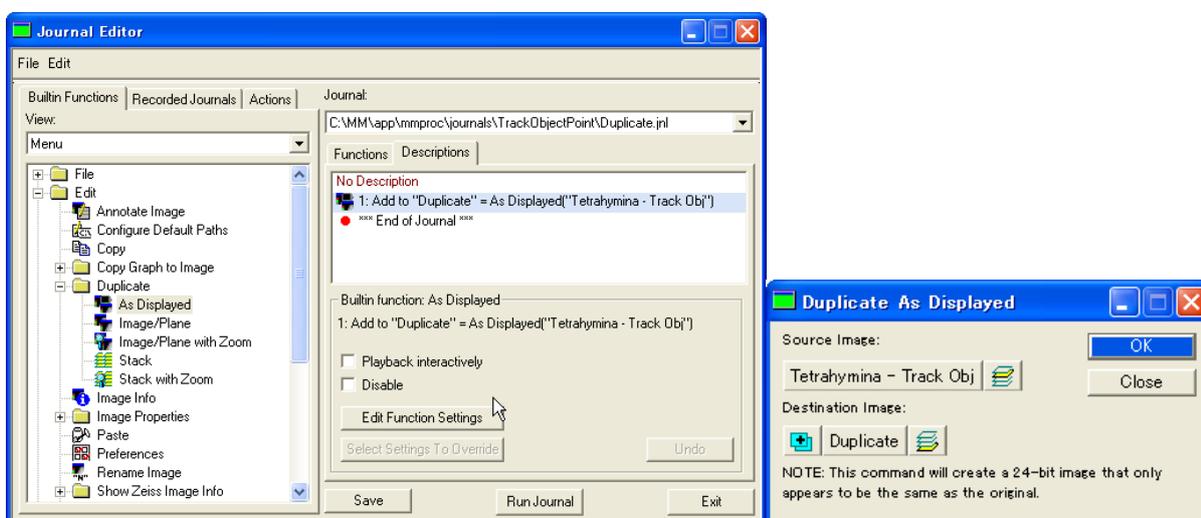
Track Points での軌跡を表示を行うジャーナルを紹介します。

通常の Track Objects (Apps に入る Track Objects オプション) では、軌跡解析を行った後の軌跡(ライン)を画像上に表示させる場合、最終的な全体軌跡のみしか画像上に残すことができませんでした。また、Track Objects にある Duplicate Overlay を使用しても全体の軌跡のみが別の画像として表示させるのみになります。

しかしジャーナルを用いることでスタック画像を動かす際に軌跡がプレーンごとに伸びていくようなものを作成することが出来ます。また、そのスタックを元にムービーファイルを作成することもできます。

Track Objects のダイアログに”Select Journal”というボタンがあります。ここをクリックしてジャーナルを設定しますと上記が可能になります。

設定するジャーナルの内容は”Duplicate As Displayed”のみです。



ジャーナル使用しないスタック画像
(軌跡がすべて表示されている)

ジャーナル使用したスタック画像
(軌跡が伸びていく)

※Track Objects を用いたジャーナルは上記以外にも可能です。IMA を用いて形態解析を行い、値を Log することも出来ます。こんなこと出来ないか？など御要望がございましたらご連絡下さい。